



No. 18, January 2020

2020年の年が明け、プロジェクトも折り返しの年に差し掛かりました。2019年雨期作の圃場審査・生産物審査の進捗を追跡していますが、前年に比べると合格証（通称Yellow Tag）の発行までの時間がかかなり短縮されているようです。プロジェクトは開始時は合格証の現物を見たことがない人も沢山いましたが、合格証が品質の証との考えもじわじわ浸透してきているようです。

**CSモニタリング** 12～1月に7県を視察、普及所から今年度の圃場審査結果、生産物審査の進捗を聞き取り、合格証が付いたCS生産を確実にするための意見交換を行いました。CSへの理解や意識の高まりが見え、プロジェクトのメッセージがじわじわと伝わっているような感触を得ました。所々農家の種子貯蔵状況も確認。熱心な採種農家を見ると希望が見えてきます。

**PTN種子ラボ** 今シーズンからバテインの地域ラボが動き出しました。普及員研修にも参加したエーヤワディー地域事務所の種子担当室職員がヤングラボの監督下で検査をしています。



**合格証を付けたCS** 今期は生産物審査期間を短縮すべく、各T/Sが奮闘しています。マウビン T/S倉庫では審査に合格した種子に合格証（黄色タグ）が早々と着けられてました。

**CS啓蒙ツール** ラプタ県Mawlamyinegyun T/Sではプロジェクトが配布したCS利用啓発教材を拡大ビニル印刷し、人目につきやすい事務所や市場に掲示してました。ちょっと嬉しいです。

**精米デモンストレーションの準備** 今年もCSのメリットを関係者に知っていただくためにCSから生産した粳の精米デモンストレーションを行います。写真はヒンダダ県の協力精米業者です。



**新たにラプタ県で精米デモを展開** T/S事務所にて地元の精米業者と事前打ち合わせを行いました。ラプタ県はCS流通がしっかりした県なので、デモの効果にも期待が持てます。

**ミャンマーの栄養強化米** ローカルメディアに、学校で試験的に栄養強化米を給食として出すことがニュースになってました。スーパーでもポーサン米にビタミン添加したお米が売られてます。

**ミャウンミャ県の朝日** 新年なので明るい日の出の写真を載せたかったのですが、この季節は朝霧が出ることも多く、幻想的な雰囲気になりました。1月は年間でも涼しく過ごしやすい季節です。



ミャンマーの活動地域はもうすっかり夏の様相。これから現場周りがきつくなる時期です。体調を整え乗り切りたいと思います。FBアカウントをお持ちの皆様は、公式サイトも是非ご訪問ください。URL (<https://www.facebook.com/jica.pure.cs.project/>) (編集委)